

令和6年度 [1]年[国語]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにしようとする姿勢を養う。 ・自らの思いや考えをわかりやすく適切な文章で表現しようとする姿勢を養う。 ・国語に対する知識や技能を身につける中で、国語に慣れ親しむ。 		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 別 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活する上で必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 ・日本の言語文化に親しみ、理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を身につけるようにする。 ・日常生活での人との関わり合いにおいて、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものとするようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のもつ価値に気づき、進んで国語の学習に取り組み、その中で自己の学習課題を見つけ、その解決に向けて粘り強く学習に向かう態度を養う。 ・日本の言語文化を大切にその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

学 期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
一 学 期	4月	朝のリレー【詩】 竜【物語】	<ul style="list-style-type: none"> ・構成や表現に着目し情景を想像して音読し、感じたことや想像したことを共有する。 ・描写をもとに主人公の心情の変化を捉える。表現の工夫や効果について考える。 	
	5月	グループディスカッション 【話す・聞く】 言葉発見1 ペンギンの防寒着【説明文】 クジラの飲み水【説明文】	<ul style="list-style-type: none"> ・話題や展開にそって話し合いを行う方法を身につける。話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。 ・日本語の音声のしくみとはたらきを理解する。 ・説明文の基本構造と読み取り方を理解する。 ・段落どうしの関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 ・読み手にわかりやすく伝えるための筆者の表現の工夫を捉える。 	
	6月	漢字のしくみ1 レポート【書く】 言葉発見2 空中ブランコ乗りのキキ【物語】	<ul style="list-style-type: none"> ・活字と手書き文字の知識をもち、画数と筆順について理解する。 ・収集した情報を整理し、表・イラストを用いて伝わりやすいレポートを書く。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・描写を手がかりに場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化を捉える。 ・登場人物の判断や行動について、自分の考えをもつ。 	
	7月	字のない葉書【随筆】 文法の窓1 漢字のしくみ2 随筆【書く】 書写	<ul style="list-style-type: none"> ・場面と場面、描写と描写を結びつけて、内容を理解する。 ・行動の描写を手がかりに人物像や人物の心情の変化を捉える。 ・言葉の単位と文節の相互の関係、文の成分を理解する。 ・部首と漢字の成り立ちについて理解する。 ・自分の体験の中から題材を決め随筆を書き、作品交流を通して相互評価する。 ・字形の整え方についての理解を深め、整った文字を書く。 	

二 学 期	9月	玄関扉【説明文】	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。 ・三角ロジックの論理過程を捉える。
	10月	言葉発見3 スピーチ【話す・聞く】	<ul style="list-style-type: none"> ・接続する語句や指示する語句のはたらきを理解する。 ・日常生活から話題を選び、自分の考えが明確になるように工夫して話す。 ・聞き手の反応に応じて表現を工夫して話す。
		竹取物語【古文】 故事成語 矛盾【漢文】	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いやリズムに注意して古文を音読し古典の世界を感じる。 ・登場人物の相互関係や心情の変化について描写をもとに捉える。 ・漢文の訓読のルールを理解し、漢文調のリズムを意識して音読する。 ・話の展開を理解し、表現の効果について考える。
	11月	漢字のしくみ3 変わり身の上話	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の音訓を理解し同音異字・同訓異字の書き分けができるようになる。 ・題材の特徴を捉え工夫して書き、発想のおもしろさ、表現の工夫を交流する。
「みんなでいるから大丈夫の怖さ」【情報】 行事案内リーフレット		<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠に注意し、話し合い考えをまとめる。 ・原因と結果、意見と根拠に着目し文章を読み、自分の考えをまとめる。 ・集めた材料を書く目的や意図に応じ整理し、伝えたいことを明確にする。 ・読み手の立場から文章を読み直し、表記や表現の仕方を整える。 	
12月	文法の窓 それだけでいい【詩】	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解する。 ・詩の内容の言葉を的確に捉えて内容を理解する。 ・表現に着目し、その特徴と効果について自分の考えをもつ。 	
	言葉発見4 書写	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな表現技巧について知り、それらを実際に使い、日常生活から題材を集め、自分の感じたことが的確に伝わるように表現を工夫し詩を書き、交流する。 ・筆遣いと字形に注意して書く。 	
三 学 期	1月	百人一首【和歌】 トロッコ【小説】 意味と意図【説明文】 意見文【書く】	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首をとおして古典に慣れ親しむとともに歴史的仮名遣いに慣れる。 ・人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。 ・情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。 ・必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 ・文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。 ・文章の構成や根拠を意識して伝えたい内容が明確になるように意見文に書く。 ・根拠の明確さなどについて、文章の良い点や改善点を出し合う。
	2月	言葉発見4	<ul style="list-style-type: none"> ・方言と共通語のはたす役割について話し合い、理解する。 ・描写をもとに、登場人物の相互の関係、心情の変化を捉える。
	3月	少年の日の思い出【小説】 グループ新聞 【話す・聞く】【書く】	<ul style="list-style-type: none"> ・過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。 ・編集会議によって取材した情報を検討・整理する。 ・読み手の立場に立ち、文章を読み直し、表記や表現の仕方などを練り直し、自分たちの考えが伝わる文章になるように工夫する。

令和6年度 [2]年[国語]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	・思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身につける。 ・自らの思いや考えをわかりやすく適切な文章で表現する力を身につける。 ・国語に対する認識を身につける。		
観 点 別 目 標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	名づけられた葉【詩】	<ul style="list-style-type: none"> ・詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ・詩にこめられたものの見方を捉える。
		セミロングホームルーム【小説】	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。 ・作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。
		言葉発見1 グループディスカッション 【話す・聞く】	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の意味と種類を学ぶ。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。 ・相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。
	5月	ジャンケンなぜグー・チョキ・パーの三種類なのか【説明文】	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な論の展開の読み方を学ぶ。
		人間は他の星に住むことができるのか【説明文】	<ul style="list-style-type: none"> ・主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。
		手紙・メール【書く】	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。 ・相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。 ・内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。
6月	言葉発見2	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のはたらきとコミュニケーションについて学ぶ。 	
	短歌の世界【短歌】	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌のリズムや表現技法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。 	
	短歌十首【短歌】 短歌・俳句【書く】	<ul style="list-style-type: none"> ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。 ・情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。 	
7月	手紙・メール【書く】	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。 ・内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。 	
	文法の窓1	<ul style="list-style-type: none"> ・用言の活用について理解する。 	
	壁に残された伝言【報告】	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。 	
		書写・硬筆	<ul style="list-style-type: none"> ・字形と形を意識して書く。
二 学 期	9月	100年後の水を守る【評論】	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ・文章を読んで理解したことと知識や経験とを結びつけて、自分の考えを広げる。
		言葉発見3 プレゼンテーション【話す・聞く】	<ul style="list-style-type: none"> ・上位語・下位語について理解する。 ・社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ・話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。
	10月	枕草子・徒然草【古文】	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。
		平家物語【古文】	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 ・場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えを持つ。
	11月	漢詩の世界【漢文】	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ・漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。
漢字のしくみ1		<ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成・熟字訓について理解する。 	

	12月	<p>情報～共生社会に関するデータ・「自立とは「依存先を増やすこと」【情報】</p> <p>投稿文【書く】</p> <p>文法の窓2 書写・毛筆【書く】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠などの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ・自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。 ・助詞・助動詞のはたらきについて理解する。 ・筆遣いと字形、字の流れを意識して書く。
三学期	1月	<p>大阿蘇【詩】</p> <p>言葉発見4 小さな手袋【小説】</p> <p>創作文【書く】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。 ・眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。 ・類義語・対義語・多義語について理解する。 ・登場人物の人物像と相互関係を捉える。 ・主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。 ・作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。 ・作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。
	2月	<p>動物園でできること【評論】</p> <p>漢字の仕組み2 論説文【書く】</p> <p>走れメロス【小説】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ・動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。 ・熟語の読みについて理解する。 ・伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。 ・根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。 ・人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。 ・工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。
	3月	<p>情報誌～地域の魅力を振り返って【話す・聞く】【書く】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合って考えをまとめる。 ・地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。

令和6年度 [3]年[国語]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにするとともに、生活の中でこれらの能力を活用できるようにする。 ・自らの思いや考えをわかりやすく適切な文章で表現する能力を身につける。 ・国語に対する認識を深める。 		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点別目標	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

学期	月	学習内容	学習のねらい
一学期	4月	授業開き～2年生の学びの復習～ 岩が【詩】 握手【物語】 言葉発見1 グループディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年の新たな学びに向けて、第2学年の学習内容を確認・整理する。 ・描かれた情景を想像しながら読み、詩に込められた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。 ・小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価し、過去を回想する語り手の思いを捉え、それに基づいて自分の考えをもつ。 ・辞書の使い方を知る。 ・話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・文章の批判的な読み方を学ぶ。 ・文章の構成や論理の展開の仕方を捉え評価し、「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。 ・条件に応じて表現を考えたり資料を適切に引用したりして、自分の考えが伝わるように工夫する。 ・四字熟語について理解する。 ・俳句のきまりや表現の特徴をもとに俳句についての理解を深め、語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を詠み味わう。 ・読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書き、工夫などについて意見を交流し、自分の文章の良い点や改善点を見出す。 ・和語・漢語・外来語について理解する。 ・話題とそれに対する筆者の味方に着目して内容を具体的に読み取り筆者の思いを捉え、人間が生きる上での「希望」の意味を捉え、自分の考えをもつ。
	5月	【話す・聞く】 「批判的に読む」とは 間の文化【説明文】 課題作文【書く】	
	6月	漢字のしくみ 俳句の世界【俳句】 俳句十句【俳句】	
	7月	批評文 言葉発見2 希望【説明文】	

二 学 期	9月	フロン規制の物語－〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで 【説明文】 言葉発見3 パブリックスピーキング	・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、文章を批判的に読み、科学と社会の関係について自分の考えを述べる。
	10月	【話す・聞く】 和歌の世界－万葉集古・今和歌集・新古今和歌集【和歌】 おくのほそ道【古文】	・慣用句・ことわざ・故事成語について理解する。 ・社会生活の中から題材を探し、相手を説得できるように論理の展開などを考えて話の構成を工夫する。 ・和歌の形式や表現の特徴を理解し、和歌に詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。
	11月	言葉発見3 論語【漢文】	・歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉え、優れた表現や文体の特徴に着目しながら作品を読み深める。 ・言葉の変化について理解する。
	12月	漢字一字で表現すると 複数の情報を関連付けて考えをまとめる 初恋【詩】 書写〈硬筆〉	・漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方についてまとめる。 ・日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 ・具体と抽象など、情報と情報との関係に注意しながら互いの発言を生かして話し合う。 ・詩の形式や、表現の特徴とその効果を理解し、初恋の心情を味わう。 ・行書の特徴について知る。
三 学 期	1月	言葉発見5 故郷【物語】 「文殊の知恵」の時代【説明文】	・敬語のさまざまな働きについて知る。 ・登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について自分の考えをつくる。 ・筆者の主張を捉え、自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解し、これからの社会について考える。
	2月	坊っちゃん【物語】 名言集	・言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読み、作品の特徴を評価する。 ・中学校生活を振り返る。
	3月	さくら(独唱)【詩】	・歌詞の意味を考える。

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」、「思考・判断・表現」については、定期テスト(中間テスト・期末テストなど)や漢字テストなどによって、その到達度を測る。 ・「主体的に学習に取り組む態度」については、学習態度(グループ活動・ふりかえりシート・提出物・学習準備など)及び「知識・技能」、「思考・判断・表現」の到達度を踏まえ評価する。
-------	--

学習のしかた

《 授業中 》

- ◆授業の初めにめあてを確認し、最後にめあての達成ができたかふりかえりをする。
- ◆ペアやグループ学習で、周りの意見を聞き、自分の考えを広げていく。
- ◆適切な速度や音量で、言葉の調子や間の取り方を工夫しながら本文を音読する。
- ◆人の意見を聞き内容を深める。
- ◆わからない語句、読めない漢字にマークをし、辞書を活用して調べる。
- ◆論理(筋道)立てて自分の意見を述べる。
- ◆自分の意見や感想を積極的に書き、発表する。

《 家庭学習 》

- ◆復習で定期テスト前に使えるようなノートづくりをしていく。
 - ◆学校のノートとは別に、自主学習ノートを作り、活用すると効果が上がる。
- * 下記の学習内容を授業や自分の弱点に合わせて、家庭学習に取り組みましょう。

漢字

- ①読めるようにする。(音読み・訓読みを同時に覚えておく)
- ②何度も書いて覚える。(熟語での使い方勉強すると効果的)
- ③自分で確認テストを行う。
- ④間違った漢字、分からなかった漢字をチェックしておく。
- ⑤しばらくたってから、またはテスト前などに練習する。
- ⑥テスト直前に、間違った漢字や分からなかった漢字をチェックする。

説明文や物語文

- ①本文をすらすら読めるまで何度も読む。
- ②学校での意味調べや類義語、対義語を確認し、わからない言葉は自分で意味を調べる。
- ③授業のノートの大事な言葉、語句をカッコ抜きにして、問題を作ってやってみる。
- ④問題集やプリントをやってみる。

詩, 短歌, 俳句など

- ①本文をすらすら読めるまで何度も読む。(暗唱できるくらい)
- ②授業で学習した語句の意味や、表現技法を確認し、ノートにまとめる。
- ③主題や情景や表現について考え、鑑賞文を書いてみる。

古典, 漢文

- ①本文をすらすら読めるまで何度も読む。(暗唱できるくらい)
- ②ノートに本文を写し、歴史的仮名遣いや古語を確認する。
- ③全文を訳したり、現代語訳と比較したりして、わからなかった部分をノートに書き出す。
- ④作品名, 作者名, 成立時代を覚える。

文法

- ①文節分け, 文の成分, 単語分け, 品詞分けなどを文法の問題集で行う。
- ②文の成分の名前, 品詞名, 品詞ごとの種類分け, 活用の種類などを確認し、わからないところ, 不安なところを何度も確認する。

◎読書の時間をもちましよう！毎日、家庭での読書の時間をもつことが、確実に国語力を上げることに繋がります。

《 テスト勉強 》

- ◆授業をしっかり聞き、考え、まとめておけばそれがテスト対策になります。
- ◆家庭学習で予習・復習することで授業の理解度も高まっていきます。ノートやワーク、ドリルパークを活用しましょう。
- ◆国語の場合はこれをやればすぐに力がつくというものはありません。地道な毎日の積み重ねが大切です。
とにかく難しい文章を読むことに慣れること、分からないことばの意味や漢字をすぐに調べることで力がついていきます。
- ◆書く力は「書く」ことで身につきます。次の方法で「書く」ことに慣れましょう。
 - ①新聞のコラムや本、詩集などを読み、それについての感想文や鑑賞文をノートや原稿用紙にまとめてみる。
 - ②自分の文章を読み返し、表現や漢字の使い方について必ず確認する。
 - ③毎日のあゆみやステップアップなどの通信欄を活用し、日々の出来事やそれについての自分の思いをまとめる。